

平成 20 年度日本体育測定評価学会第 1 回理事会 議事録

日 時： 平成 20 年 5 月 31 日 13:15 ~ 16:00
場 所： 早稲田速記医療福祉専門学校 702 教室 東京都新宿区 J R 山の手線他「高田馬場」駅最寄
出席者： 波多野，出村，山田，武藤，中田，村瀬智，郷司，太田，長澤，稲垣，南，國土，
吉儀（理事 13 名），岩崎，片尾（監事）。
書面出席者： 石川，岩下，大内，小林，田中，西嶋，村瀬訓（理事 7 名）。

配付資料： 予定議題説明資料（A 資料 0 ~ 11）
機関誌編集委員会関係の協議事項と報告事項の要約（B 資料）
学会大会実行委員会配布資料（C 資料）

定足数の確認：

定刻に議長が開会を宣し、本日の出席数が定足数を満たし会議が成立する旨を確認した。

議事録署名人：

議長は波多野会長、吉儀理事を指名したい旨を発言し、一同に了承された。

議事

・報告事項

1. 事務局報告：

- 1) 次期の理事と体育学会の代議員の選挙結果について以下の報告があった。
 - ・選挙管理委員会からの通知が届けられた。数字は得票数の多い順。
 - 1 出村慎一，2 山田俊二，3 大内哲彦，4 田中喜代次，5 小清水英司(辞退)，6 西嶋尚彦，
 - 7 村瀬智彦，8 山次俊介，9 太田あや子，10 佐藤 進，11 波多野義郎(辞退)，12 中田征克，
 - 13 吉儀 宏，14 萩 裕美子，15 長澤吉則(繰上)，16 郷司文男(繰上辞退)。
 - ・次期の日本体育学会測定評価分科会選出代議員には上位 2 名を報告。
 - ・事務局から次期理事への就任承諾を求め、当選 14 名の内 2 名から辞退連絡があり、選挙管理委員長は繰り上げ当選を行ったが、次点者から繰り上がり辞退があり、13 名を当選者として会長に報告された。17 位以降の得票数は数票と少なく、繰り上げの繰り上げは見送られた。
 - ・同点者(6-7 位，8-9 位，10-12 位，そして 13-15 位)の各順位付けは選管委の厳正な抽選による。
- 2) 次期会長等候補者選考委員会(仮)設置についての報告があり、委員は、波多野，出村，岩下，山田，大内，田中，村瀬智の 7 名で構成したとの報告があった。また、本年度役員連絡名簿を改訂配布するとの報告があった（A 資料最終頁）。
- 3) 日本体育学会第 59 回大会組織委と東京支部より、そお会場担当実行役員を 2 名貼り付ける依頼を受け、東京支部会員の内から若手、瀬戸口祐剛先生、田中一徳先生がその任に付いたと報告され了承された。
- 4) 測評年次大会発表研究抄録の取り扱い案（機関誌掲載料金関連議案）について以下の説明があり、今年度の検討が予告された。

その抄録が和文機関誌に報告掲載されるのであれば、その経費支出増大に鑑み、
年次大会開催要項には、そのためのテキストのみの原稿も合わせて提出する旨を明記。
参加費とは別に、和文機関誌への活動報告掲載用「抄録ページ編集費」1,500 円を支払う。
大会実行組織が上記の実務を執る。

対案としては、年次大会実行組織の編集発行するプロ・抄録集を全会員に配布する、等。

2. 各委員会等報告：

- 1) 長澤研究推進委員より、A 資料 A-0、1 に基づいて、研究助成（審査）に係わる協議事項と報告事項が説明された。各助成採択研究の進捗は順調であり、粛々と助成実務を継続中。

3. その他：

- 1) 稲垣理事より、A 資料 6 に基づいて、本学会倫理規程草案作成について前文について説明があり、今後メール等で意見を頂きたいとの報告があった。
- 2) 理事長は予算金額を訂正した平成 17 年度会計決算書の差し替えが終了していると報告し、了承された。
- 3) 波多野会長より、5 月初旬に開催された ICHPER・SD 世界大会についての報告（20 カ国が参加、ICHPER Japan 組織を発足させる動勢等）があった。

・協議事項

1. 理事長より、次期理事候補者案についての説明があり、13名で了承された。
2. 理事長より、A資料7-1、2に基づいて会則変更案についての説明があり、
 - 1) 名誉会長職の新設案は任期を設けない変更を原案に加え承認された。
 - 2) 評議員および評議員規程案は一部使用文字を修正する変更を原案に加え承認された。
3. 理事長より、A資料8に基づいて本学会第7回大会会計決算書および会計監査報告書(案)についての説明があり承認された。
4. 武藤庶務委員長より、A資料9に基づいて平成19年度本学会会計報告書(案)についての説明があり、国際交流費をICHPER大会組織委への援助という臨時費と年会費に分けて記載することが了承された。
5. 庶務委員長より、A資料10に基づいて平成19年度会計決算報告書(案)について説明があり、了承された。
6. 長澤研究助成担当研究推進委員より、A資料1-1、2に基づいて日本体育測定評価学会研究助成審査に関する申し合わせ(改定案)の説明があり、承認された。また、同委員より、A資料2、3に基づいて平成20年度研究助成申請書における審査結果について説明があり、承認された。
7. 同研究推進委員より、A資料4、5に基づいて平成19年度研究助成採択研究の各報告書における審査結果(案)の説明があり、承認された。
8. 南学会大会委員長より、C資料に基づいて日本体育学会第59回大会の測定評価専門分科会の企画案についての説明があり、口頭発表の座長に関しては調整することで承認された。
9. 村瀬智編集委員長より、A資料11に基づいて論文掲載料の支払義務者の定義と金額の明記についての説明があり、以下のように修正することで承認された。
 - 1) 「投稿者=第一著書」と定義し、規程に「投稿者(第1著者)」と明記する。
 - 2) 掲載料に関する具体的な金額は「別に示す」とした。
10. 編集委員長より、B資料2に基づいて和文機関誌における再掲載論文の掲載決定と掲載料についての説明があり、以下の原案が承認された。

原案：和文機関誌への再掲載を認める論文は編集委員会が決定することとし投稿規定などに明記する。また、再掲載論文の規定ページ分の掲載料は、投稿者(第一著者)が学会員の場合は請求しない(非学会員の場合は全て請求する)。但し、超過分は請求する。
11. 編集委員長より、B資料3に基づいて論文投稿者の会員資格などの情報と掲載料の連絡のタイミングについての説明があり、以下の原案が承認された。

原案：投稿論文が受理された時点で編集事務局から投稿者(第1著者)の情報を学会事務局に連絡する。また、論文が投稿された際の受付連絡文書に掲載料に関する文言を定型文として加えて編集事務局より連絡することにより著者に再確認を促す。
12. 村瀬編集委員長より、B資料4に基づいて和文機関誌に掲載する論文の受理日についての説明があり、以下の原案が承認された。

原案：和文機関誌に掲載する論文は原則発行日の1ヶ月前までに受理された論文とする。

上記9.~12.の背景として、本学会は「自己負担の原則」を旨とすることが昨年度に理事会合意されており、機関誌発行によるいたづらな支出増大を許せば、その増加分経費の回収手立てを持たない学術団体となり、単年度赤字会計団体と化することが容易に予想される状況にあるから、と説明される。
13. 理事長より、名誉会長、功労賞、名誉会員に推挙する案について説明があり、現会長の波多野義郎先生を次期名誉会長、功労賞、そして名誉会員に推挙することが大きな拍手で承認された。

・その他 なし

以上で議事を終了し、散会とした。

この議事録が適正に作成されていることを証するためにここに署名、押印する。

平成20年5月31日

議事録署名人 理事 波多野 義郎 印

議事録署名人 理事 吉 儀 宏 印

議 長 理事長 山 田 俊二 印